

3  $3 \times \frac{2}{7}$  ,  $1\frac{2}{3} \times \frac{3}{10}$  の計算のしかたを説明しましょう。

🌿 それぞれの計算のしかたを考えましょう。

● これまでに学習した分数×分数の計算のしかたを使うには、整数や帯分数をどのようにしたらいいかな。

例) 整数を、分母が1の分数と考えて分数×分数の計算にする。

帯分数を、仮分数になおして分数×分数の計算にする。

○  $3 \times \frac{2}{7}$  ,  $1\frac{2}{3} \times \frac{3}{10}$  の計算をしましょう。

● 教科書を見ずに、まずは自分で計算してみよう。


**整数は分母が1の分数と考えて計算します。**

**帯分数は仮分数で表して計算します。**

●  $3 \times \frac{2}{7}$  は  $\frac{3 \times 2}{7}$  と考えてもいいね。

4 <sup>ねだん</sup> 1 m の値段が120円のロープがあります。

このロープ  $1\frac{1}{3}$  m ,  $\frac{2}{3}$  m の代金は、それぞれ何円ですか。

① 式を書いて、答えも求めましょう。

● 教科書の数直線の図を見て、それぞれの積は120より大きくなるか、小さくなるか考えよう。

ア  $1\frac{1}{3}$  mの代金      式  $120 \times 1\frac{1}{3} = 160$       答え 160円

イ  $\frac{2}{3}$  mの代金      式  $120 \times \frac{2}{3} = 80$       答え 80円

🌿 かける数の大きさや積の大きさの関係を調べよう。

② 120円を1とみたとき、ア、イの式はそれぞれ、どれだけにあたる大きさを表していますか。

● 教科書の数直線の図を見て考えよう。

分数をかけるかけ算でも、1より小さい数をかけると、「積くかけられる数」となります。

● 小数をかけるかけ算と同じだね。  $400 \times 0.6 < 400$

④ の  にあてはまる不等号を書きましょう。

①  $5 \times 1\frac{3}{5}$   5

②  $\frac{3}{4} \times \frac{2}{3}$    $\frac{3}{4}$

③  $\frac{1}{2} \times \frac{7}{5}$    $\frac{1}{2}$

● 今日の学習をふり返って、感想を線で囲もう。

むづか難しかった       少し難しかった       だいたいわかった       よくわかった

● よくわからなかったところ、難しかったところがあれば、先生に質問して、納得するまで考えよう。

-----

-----

-----